

【令和3年度 事業計画書（強化・指導普及）委員会】

富山県バレーボール協会

事業の目的		事業の課題	事業の計画	期待される事項	予算執行計画
成年・少年強化	・選手強化対策事業	・本国体出場，上位入賞	・県内チーム力向上策の検討・実施 ・県体協「マルチサポート事業」へのチーム派遣	【目標】 ・成年男子…本国体出場 ・成年女子…本国体4位以上 ・少年男子…本国体出場 ・少年女子…本国体7位以上 ・ビーチ男子…本国体1回戦突破 ・ビーチ女子…本国体7位以上	県体協補助金，協会強化費，JVA補助金に加え， ゴールボール財団助成金も活用 し，選手保護者の負担を軽減しつつ最大の効果を挙げるよう努力する
	・合宿・遠征事業 ・理学療法士会へのオンラインサポート	・他県強化状況調査（競技力・組織・施策） ・県体協補助金引下げ基調 ・選手のコンディション向上	・国体等視察を通じた状況調査 ・効果的な補助金配分の実施 ・コロナ感染防止対策の目処がたてば高校公式戦全大会へ派遣		
小・中学生競技力育成	競技者育成プログラム ・トップレベル選手一貫指導	・実効性のある強化練習会の実施 ・有望選手の一貫的育成 ・中学校部活動の活動縮小	※ コロナ感染状況を注視し実施 (中学生) ・JOC選抜強化練習会(10～12月,県総) ※9月会場は未定（県総中アリ空調工事実施のため） ※本大会中止の場合， R2年度同様に選手選考数を拡大し，練習および県内高校との練習試合を実施して底上げを図る。その場合，中2男女強化練習会は中止とし，中3選手の育成に注力。 ・中2男女強化練習会(11.20～21,北電研) ・中1女子強化練習会(中止) ※R2ははばたけ大会中止のため ・ 中1男女強化リーグ戦(新規・2.26,県西部) ・県体協「マルチサポート事業」へのチーム派遣 ・中学生カテゴリークラブ化等への検討継続(小学生) ・「はばたけ大会」の練習会，競技会(2.20 県西部)での有望選手の選考（12月チーム結成，2月に競技会） ・県体協「未来のアスリート発掘事業」への長身選手の派遣(小5)	(中学生) ・JOC：決勝トーナメントベスト8 ※ 本大会中止の場合は競技力の底上げにシフト ・有望選手に対する基礎技術一貫指導による本県中学・高校の競技力向上 ・将来的な本県全体の競技力向上 ・県下競技レベルの底上げと指導者育成 (小学生) ・練習会を通じた小中指導者連携	
	・小～高までの指導者間連携構築	・小～高各連盟所属指導者間および強化・指導普及委員との情報連携不足	・小～高各連盟メンバー（役員）と協会強化指導普及委員での定例的会議の実施（強化・指導普及委員会の拡大）	・県下指導者の連携構築による意識の共有化 ・意識共有化による一貫的指導実現および競技力向上	
指導普及	・競技スポーツ振興事業	・小学生基礎技術力向上 ・競技人口の減少	・アキ等によるバレーボール教室の開催	・基礎技術力向上とアカホームゲーム観戦者増 ・競技人口の増加	
	・JVA 競技者拡大委員会事業	・競技人口拡大	・中学生女子ビギナー大会開催(12.4 県西部)	・バレーボールを選択してくれた中学生が，バレーボールを好きになり高校でも続けてくれるきっかけ作り	
	・公認指導員養成	・「コーチ1」(旧「指導員」)資格保有者の養成	・「コーチ1」資格研修(専門科目)の継続実施(8.14～15,県総)	・県内指導者の有資格者の増加(特に中体連・高体連)	
他	・新型コロナウイルス感染症対応ガイドラインの適宜修正	・日本スポーツ協会，JVA等の関係箇所ガイドラインの修正等を注視し，適宜適切な修正の実施	・本県でのバレーボール活動が原因となる「クラスター」発生の未然防止		